

キャリア1年の快挙

初

村田
鹿実

又六鹿

号外

第59回県高校新体操選手権大会第1日は5月23日、鹿児島市の県体育館で男女個人があった。男子は村田慎也（鹿実）が総合17・000で初優勝。女子は7年生の水元菜央（同）が総合27・016で昨年に続いて個人2連覇を達成した。男女とも1位が全国大会、2位までが九州大会に出場する【政純一郎】



男子個人は新体操のキャリア1年の村田慎也（鹿実）がうれしい初優勝。インターハイ（日）が掛かっていたので緊張したけど、勝つ気持ちで自分の演技に集中しましたと興奮冷めやらぬ様子だった。

3年生の村田、宮園雷大、2年生の本高裕己の鹿実3人は実力ほぼ一線、ライバル宮園

がリングでミスが相次い、論子が上がらなかつたのに対して、人を気にせず自分の演技に集中した村田は得意のロプをミスの少ない演技でリズムをつかんだ。課題だったリングも、中孝介の花のゆつたりしたリズムに乗せて思い切りのいい演技を随所にみせた。

父親はかつての新体操部の村田直志監督で、幼稚園まではシニアクラブで体操の経験はあるが、それ以降はやっていない。高校1年まで

野球部だったが、限界を感じて一念発起し新体操部の門を叩いた。最初は前転とか基本的な練習ばかりだったが持ち前の気持ちの強さと努力で3年生のラストチャンスをものにした。16歳と小柄だが、ダイナミックで攻める演技が持ち味。最初で最後になるIHではミスを少なく、自分らしい演技をしたと意気込みを話していた。

